

# 平成28年度 学校自己評価シート

# 星野学園小学校

目指す学校像	全人教育による21世紀を担う人づくり			
	1.よく考え、進んで学ぶ子ども	2.広い心を持ち思いやりのある子ども	3.礼儀正しく、あいさつのしつかりできる子ども	4.明るく健康な子ども
本年度の重点目標	番号	1 学習指導力の向上に努め、基礎・基本的な学習内容の確実な定着で、学力の向上を図る。 2 道徳教育の充実、行事や豊かな体験活動を通し、広い心を持ち思いやりのある子どもを育てる。 3 基本的生活習慣の確立、体力向上に積極的に取り組むとともに、明るく健康な子どもを育てる。 4 開かれた学校、信頼される学校づくりの推進。		

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者	12名
児童	0名
事務局(教職員)	3名

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標				28年度評価(平成29年3月31日現在)			実施日 平成29年2月25日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	・基礎学力の習得状況に個人差が見られる。確かな学力向上に向けて、教員が作成する教材プリントに加えて、ノートやテキストによる学習も進めている。5・6年生の算数では習熟度別展開授業を実施している。更に、学習習慣確立の為に、教科担任による実態に則したテストを実施している。	①基礎学力の定着と家庭学習の習慣化を図る。	①1～4年生の2人担任制の実施。 ②日々の宿題の提出を促すとともに、細やかな宿題指導を行う。	①国語・算数・理科・社会の単元テストの学級得点率を70%以上にする。 ②宿題をやりきる児童を100%にする。	①各テストを活用できた。基礎基本の力は定着してきたが支援の必要な児童がいる。 ②各学年で宿題の形式をある程度そろえ、提出状況はよくなってきている。	A A	①豊富な練習問題や副教材を継続的に使い、個別指導を通して基礎基本を定着させる。 ②引き続き、家庭と連携する。	・先生方の学習に対する取り組みについて、達成度「A」は妥当である。 ・学校だけではなく、家庭の協力も必要だと思います。 ・図書室の本の入れ替えが頻繁に行われているということだが、高学年向けの本をもう少し増やしてはどうか。 ・蔵書の検索を児童ができるようにすると、興味のある本を児童が探し出せて、より読書をするのではないかと。 ・図書委員会の活動の中で、新刊や、人気のある本をもっと紹介してはどうか。
		②全ての教科における論理力・表現力・思考力の育成。	③国語の副教材による論理力・読解力の育成。 ④算数での文章問題の活用。 ⑤社会科の資料の作成・活用。 ⑥理科での自分で考えてまとめる力の育成。 ⑦図書室、小学生新聞の利用。読書運動の推進。 ⑧アクティブラーニングの実施。	③評価項目に沿った各教科の試験作成。 ④授業ノートやプリントのまとめ方。 ⑤積極的な図書室の利用や学級文庫の活用によって、読書量を増やす。(月5冊/人) ⑥授業や学級活動の中で発表や意見交換、書く機会を積極的に設ける。	③単元毎に、習熟度を確認できるテストを作成することができた。 ④ノートやプリントで自分の考えを論理的に記述できるようになった。 ⑤蔵書を増やし星野読書タワーの推進により、学校全体で本に興味を持ち、読書をする児童が増えた。 ⑥自分の意見・主張をもとに周りとの意見交換を活発に行った。	A A B B	③引き続き、学力向上につながる試験作成に努める。 ④各教科目指す目標と身に付けさせたい力を明確にした授業を展開する。 ⑤引き続き、本に触れる機会を増やすとともに、図書委員会の活動を推進し、読書に親しめるようにする。 ⑥アクティブラーニングについての研究を行い、より効果的な授業を展開する。	
		③学習規律の定着を図る。 (聴く姿勢・落ち着いて取り組む姿勢)	⑨教員間の意思疎通を図り、落ち着いて学習できる環境を作る。	⑦自然と話を聴く姿勢を作り落ち着いて学習に取り組める児童を100%にする。	⑦声掛けをすると、姿勢を直し学習に取り組めるが身に付いていない児童もいる。	A	⑦研究授業等の研修を行い、教員の指導力向上に努める。	
2	・副校長が中心となって道徳の授業を行い、学校の教育方針等を理解させている。日常生活や行事を通して人間としての正しさ、命の尊さ、相手を思いやる優しさ等豊かな人間性を育んでいる。電車通学をする児童が多く、集団になると公共のマナーを守れない場合がある。	①心に届く道徳教育や実践・体験的な生活科・総合的な学習の時間の実施。感動体験や観察力がつく行事の推進。	①道徳の授業や体験活動を通して、心の成長を図る。行事の事前学習・体験・評価・事後学習の徹底。	①感謝の気持ちを伝えられる児童を100%にする。 ②行事で主体的に活躍できる児童を100%にする。	①行事のあとにお世話になった方々に積極的にのお礼の挨拶ができるようになってきた。 ②全学年、行事に対して積極的である。	A A	①思いやりに欠ける言動が見られることがあり、継続的に指導していく。家庭にも感謝の気持ちを伝えられるようにする。 ②引き続き、チャレンジを励行する。	・子どもたちが行事に喜んで参加している様子を見ると、親としてとても嬉しく思います。  ・低学年の児童が挨拶をしなくなっている。 ・学校だけでなく、家庭の協力も必要では。 ・災害時等の措置の原則を整えて頂き安心した。また、連絡が早くなった。 ・駅の改札口を出てからの歩き方が最近気になります。
		②進んで挨拶のできる力を育てる。	②教員の「おはよう」指導や児童会による挨拶運動の実施。	③相手に届く挨拶を進んでできる児童を育てる。	③登校時を中心に、相手に届く挨拶ができていない。	B	③人を選ばずに、誰にでもできるように、全教員で指導に力を注ぐ。	
		③緊急時・災害時における安全確保準備。	③防災訓練。防犯・安全の講演会実施。災害時対応マニュアルの決定。	④防犯と安全に注意して生活できる。	④災害時の対応について整備し保護者に周知した。	A	④引き続き、防災訓練や講演会の取り組みを実施していく。	
		④公共の場所でのマナーの習得。	④教員によるバス・電車の見回り指導の実施。	⑤公共の場所でのマナーを守ることができる。	⑤公共の場所での過ごし方には課題があり、継続指導が必要。	B	⑤日頃の学級指導と、問題があった際の個別指導を継続する。	
3	・多くの児童が体育の授業や休み時間に体育館、屋外施設で意欲的に体を動かしている。チャイム着席等、基本的生活習慣に関わる「自立」ができる様全学年で取り組んでいる。	①体力の向上を図る。	①体力テストを実施・分析し、施設等を活用して、運動の習慣化を図る。全校児童への縄跳びの励行。	①休み時間に積極的に運動する児童を90%以上にする。	①休み時間に運動する児童は多い。しかし、体力の向上という点においては課題が残る。	A	①サッカー大会や縄跳び等を通して、運動に親しむ動機付けを行う。	・サッカー以外のスポーツに対する取り組みを行ってはどうか。ドッジボールや大縄跳びなどは、高学年女子も興味を持てると思う。 ・達成度「A」は妥当である。
		②学年に応じた「自立」を目指す。	②毎日の生活や宿泊行事を通し、自覚を持って自立していく志を育てる。	②年齢に応じた「自立」ができています。	②基本的生活習慣に関わる自立が、ほぼ達成できている。	A	②家庭と連携して、自分達で考えて行動する機会を増やす。	
4	・授業参観や保護者会、学校公開行事では、多くの方が来校し、保護者や地域の方の関心も高く協力的である。これからも、学校から情報を発信し、開かれた学校づくりを進める。特に保護者とは、教育活動を通じて連絡を密に取り、信頼関係の構築に努めている。	①地域に根ざす学校づくり。 (星野学園小学校の信頼と伝統を築く)	①校外学習・行事を通し地域と関わる機会を設ける。	①お礼の手紙を通して、お世話になった地域の方々に感謝の気持ちを伝えられる。	①生活科・社会科・理科の授業で、地域の専門家や施設と連携をとりながら、取り組めた。	A	①引き続き地域の専門家や施設と関わる教育活動を充実させる。	・学校が地域との関わり方を考えていることが伝わってくる。達成度「A」は妥当である。  ・自分たちの将来の姿を見せるために、高校生ボランティア以外に中学校や高校との間に授業単位での交流を図ってはどうか。 ・小学生から何う機会を増やしてはどうか。 ・学校通信である「星小だより」は今年度からはじまった試みで、大変良いと思う。ただ、構成をもう少し工夫すると、読みやすくなるのでは。 ・学校での出来事を、積極的に情報公開していると思う。達成度「A」の評価は妥当である。
		②小中高の連携を推進する。	②行事等で、中・高の生徒や先生と積極的に交流する。小中高クラブ交流会の実施。ブリッジ講習、体験授業の実施。	②中学・高校の先生や生徒と触れ合う機会を増やす。	②クラブ活動や体育祭・文化祭・合唱祭等の行事で交流が図られた。中高委員会による読み聞かせ会の実施や高校進路決定者との交流ができた。	A	②小中高のつながりを大切にし、行事に活かす。中学・高校への積極的なアプローチを進める。	
		③子どもの様子を保護者に知らせる。	③保護者会や授業参観、二者・三者面談の実施。通信による情報の発信。連絡帳や電話連絡の積極的な活用。	③学校だより、学年・学級通信を月2回以上発行。連絡帳や電話でのやりとりを必要に応じて行う。	③学校だよりや毎学期行っている授業参観、保護者会で子どもの様子を伝えらる。また、連絡帳や二者・三者面談で個別対応もできた。	A	③家庭が求めているものを見極め、配付物を充実させて、一層信頼が増すように努める。また、教育上の課題を協力して解決していく。	
		④学校情報の公開。	④ホームページによる情報の提供を行う。また、地域・保護者に文化祭や体育祭の一般公開を実施する。 ⑤星野学園小学校新聞を発行し、児童の様子を広く伝える。	④ホームページを積極的に更新する。文化祭で来場者が楽しめるよう、ステージ発表や展示の充実を図る。 ⑤星野学園小学校新聞を定期的に発行する。	④HPでは児童の授業や行事の様子を中心に公開。多くの方にアクセスして頂いた。文化祭は、来場者から大変好評であった。 ⑤学校新聞を発行し、HPにも掲載した。	A A	④地域・保護者に学校教育への関心を更に持ってもらえるよう、今後も積極的に発信していく。 ⑤次年度も魅力的な新聞作りを継続していく。	